

**情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会
衛星・科学業務委員会（第13回）
議事概要**

- 1 日時 平成28年9月2日（金）14:30～15:20
- 2 場所 中央合同庁舎2号館 総務省 低層棟1階 共用会議室4
- 3 議題
 - (1) 衛星・科学業務委員会（第12回）議事概要（案）について
 - (2) ITU-R SG4関連会合（2016年4月）の報告書（案）について
 - (3) ITU-R SG7関連会合（2016年4月）の報告書（案）について
 - (4) ITU-R SG4関連会合（2016年9月）への日本寄与文書（案）について
 - (5) ITU-R SG4関連会合（2016年9月）の外国等寄与文書の審議表（案）について
 - (6) ITU-R SG4関連会合（2016年9月）の対処方針（案）について
 - (7) ITU-R SG7関連会合（2016年10月）の外国等寄与文書の審議表（案）について
 - (8) ITU-R SG7関連会合（2016年10月）の対処方針（案）について
 - (9) その他
- 4 配付資料
 - 資料 衛・科-13-1 衛星・科学業務委員会（第12回）議事概要（案）
 - 資料 衛・科-13-2 ITU-R SG4関連会合（2016年4月）の報告書（案）
 - 資料 衛・科-13-3 ITU-R SG7関連会合（2016年4月）の報告書（案）
 - 資料 衛・科-13-4 ITU-R SG4関連会合（2016年9月）への日本寄与文書（案）
 - 資料 衛・科-13-5 ITU-R SG4関連会合（2016年9月）の外国等寄与文書の審議表（案）
 - 資料 衛・科-13-6 ITU-R SG4関連会合（2016年9月）の対処方針（案）
 - 資料 衛・科-13-7 ITU-R SG7関連会合（2016年10月）の外国等寄与文書の審議表（案）
 - 資料 衛・科-13-8 ITU-R SG7関連会合（2016年10月）の対処方針（案）
 - 参考資料 1 衛星・科学業務委員会 衛星業務WG審議報告
 - 参考資料 2 ITU-R SG4会合（2016年9月）の開催案内
 - 参考資料 3 ITU-R SG4関連会合（2016年10月）の開催案内
 - 参考資料 4 ITU-R SG7関連会合（2016年10月）の開催案内
 - 参考資料 5 ITU-R SG4関連会合（2016年9月）の日本代表団一覧（予定）
 - ITU-R SG7関連会合（2016年10月）の日本代表団一覧（予定）
 - 参考資料 6 今後のITU-R SG4及びSG7関連会合の開催予定
 - 参考資料 7 衛星・科学業務委員会 構成員名簿

5 出席者（敬称略、順不同）

主 査：加藤 寧

構 成 員：藍沢 志津、阿部 宗男、雨宮 明、稲村 賢治、大石 雅寿、加保 貴奈、河合 宣行、佐藤 祐子、鈴木 久、田中 祥次、徳永 恭子、橋本 明、花土 ゆう子、日野 和恵、三谷 政昭

関 係 者：鈴木 陽一、松嶋 孝明、三浦 周

事 務 局：内藤 課長、武馬 課長補佐、奥井 国際係長、大久保 国際係官（以上、基幹・衛星移動通信課）、菅田 室長（国際周波数政策室）

6 議事概要

開会に際し、主査から、構成員に加え関係者も専門的立場から審議に参加するとの説明があった。

(1) 衛星・科学業務委員会関連WG審議報告

参考資料1に基づき、河合構成員（衛星業務WG主任）から、衛星業務WGの活動報告がなされた。

(2) 衛星・科学業務委員会（第12回）議事概要について

資料 衛・科13-1に基づき、衛星・科学業務委員会第12回会合の議事概要（案）について事務局から説明があり、特段の意見がある場合は、事務局あて連絡することとなった。

(3) ITU-R SG4関連会合（2016年4月）の報告書（案）について

平成28年4月6日（水）から4月22日（金）まで開催されたWP 4A、WP 4B、WP 4C会合について、資料 衛・科13-2に基づき、事務局から報告があった。

特段、質疑なし。

(4) ITU-R SG7関連会合及びSG7会合（2016年4月）の報告書（案）について

平成28年4月4日（月）から4月8日（金）まで開催されたWP 7A、WP 7B、WP 7C、WP 7D及びSG 7会合について、資料 衛・科13-3に基づき、事務局から報告があった。

主なやり取りは、以下のとおり。

阿部構成員：SG7報告書にコメント。表3に入力文書一覧があり、結果のところに横線が引かれてあるが、SG7としてノートした

とか何らかの結果は出していると思うので確認していただきたい。また、表3文書番号2(DOCUMENTS TO BE CARRIED OVER FROM THE 2012-2015 STUDY PERIOD)について、提出元がSG7となっているが、SG7がSG7に文書を出すことはないはず。

事務局：結果の記載については見直す。文書番号については、当該文書の提出元にSG7と書かれているのでこのように記載した。

大石構成員：WP7D報告書p.4に記載の電波天文と76-81 GHzの車載レーダーの共用検討について、どちらも一次業務なので共用検討をしなければならない。ITU-Rではこれまでに一度も共用検討が行われていないため、被干渉側であるWP7Dとして共存方法確立することが重要になる。このため、私がCorrespondence Groupの議長をやることとなった。

加藤 主査：SG7からSG7への文書については2012-2015年に議論したことを再確認するものと思われる。提出元がどこなのか、どのようにすべきか確認していただきたい。

事務局：確認する※。

※確認後、前会期から繰り越されている文書の一覧については他WP,SGにおいても各WP, SGからの入力となっているため記載は変更しないこととした。

(5) ITU-R SG4関連会合（2016年9月）への日本寄与文書（案）について

WP4Aへ1件、WP4Bへ2件、合計3件の日本寄与文書（案）について審議がなされ、WP4Bへの2件の寄与文書（案）については承認された。WP4Aへの寄与文書（案）については、修正付きで承認された。

- ・ WRC-19議題9.1 課題9.1.2のLバンドIMT/BSS共存検討に関する提案 (4A/J-1)

資料衛・科13-4-1に基づき、松嶋氏より説明があった。
主なやり取りは、以下のとおり。

大石構成員：英文のAttachment 1について、タイトルとイントロダクションの最後の行に、スクエアブラケットで[in different countries]とあるが、スクエアブラケットにする意図は何か。またイントロダクションの最後の行に[in different countries]と入れることで、寄与文書の解釈が難しくなる。タイトルとイントロダクションにこの文言を入れる意図を明確にすべきではないか。

松 嶋 氏：本件はWP5Dで日本が提案した内容となっており、前回WP5Dではスクエアブラケットなしで提出している。しかし、他国からin different countriesだけではないと意見があり、合意されていないため、スクエアブラケットになっている。次回WP5Dにスクエアブラケットを削った寄与文書を入力予定であり、合意されれば、意味が通じると考えている。もし、これが残らなければ、ご指摘の通り意味が変わってしまうため、イントロダクションの修正をする。

大石構成員：タイトルに「違う国」と書かれても違う国がどこの国なのかかわからないので、レポートの意味が劣化することを懸念している。

橋本構成員：私も大石氏と同じことを懸念しているが、ワーキングドキュメントなのでいずれ精査することになると認識している。イントロダクションの最後の1～2行のIMT systems in one country and BSS (sound) systems in other countryとは。IMTがどこかの国か、それとは別の国のBSSなのでotherを用いており、それらがdifferentな国であるということなのか、表現としてわかりにくい。また、BSSについてother countryとあるが、another countryの方が適切ではないか。そういったことを含めて現地で議論していただきたい。

加藤 主査：ある1つの国のIMTが別の1つの国のBSSに干渉するという趣旨であれば、橋本氏のご指摘の通りanotherの方が適切だと思われる。

松 嶋 氏：現地でそのように対応する。

- ・ 新報告案ITU-R M.[PERF-INTEG-MSS]3 GHz帯以下の統合MSSシステムのシナリオと性能について(4B/J-1)

資料衛・科13-4-2に基づき、三浦氏より説明があった。

特段の質疑なし。

- ・ 新レポート案ITU-R BO.[UHDTV-SAT EXP]UHDTV衛星放送に向けた衛星伝送実験(4B/J-2)

資料衛・科13-4-3に基づき、鈴木氏より説明があった。

特段の質疑なし。

(6) ITU-R SG4関連会合（2016年9月）の外国等寄与文書の審議表（案）について

平成28年9月1日時点で公表されている外国入力文書の審議表（案）について、資料 衛・科13-5に基づき事務局から説明があり、承認された。

(7) ITU-R SG4関連会合（2016年9月）の対処方針（案）について

対処方針（案）について事務局から資料 衛・科13-6に基づき説明をし、
対処方針（案）に基づき対処することが承認された。

特段の質疑なし。

(8) ITU-R SG7関連会合（2016年10月）の外国等寄与文書の審議表（案）について

平成28年9月1日時点で公表されている外国入力文書の審議表（案）について、資料 衛・科13-7に基づき事務局から説明があり、承認された。

(9) ITU-R SG7関連会合（2016年10月）の対処方針（案）について

対処方針（案）について事務局から資料 衛・科13-8に基づき説明をし、
対処方針（案）に基づき対処することが承認された。

以上